

4Q FY2018

From Jul.2017 to Jun.2018

**Financial Results
Presentation**

2018年6月期 決算説明資料

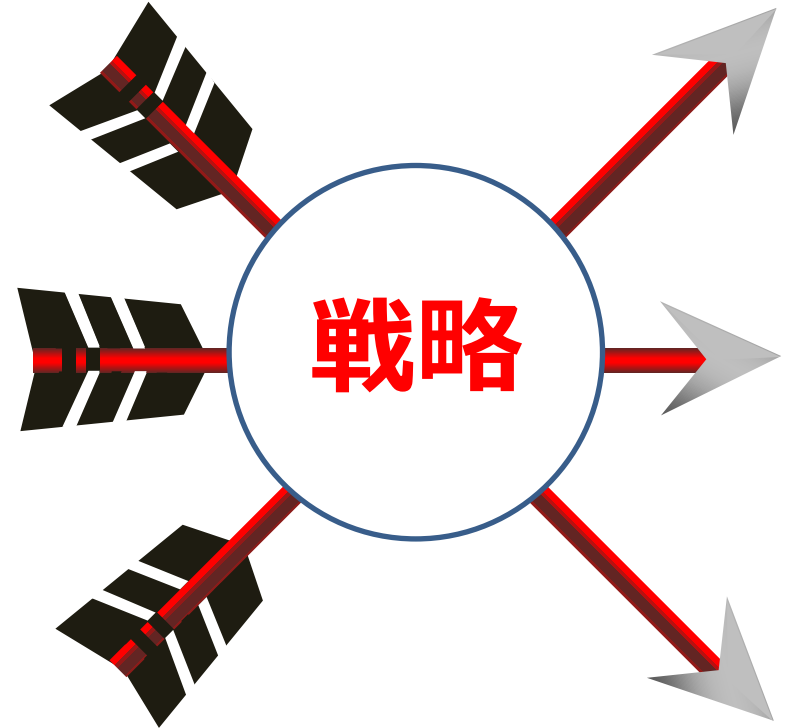
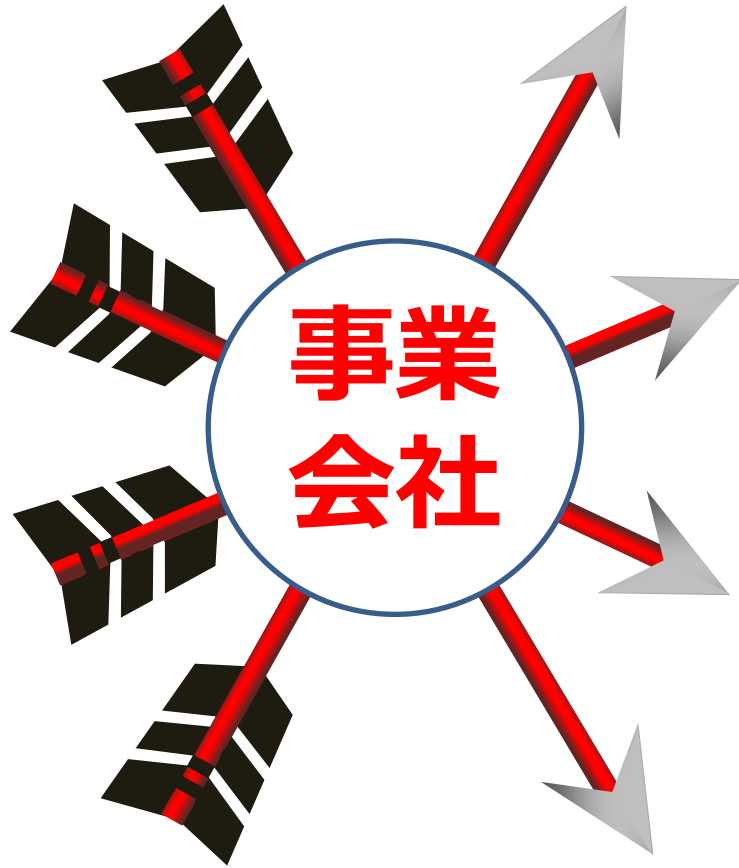
株式会社ウイルプラスホールディングス(東証第一部 : 3538)

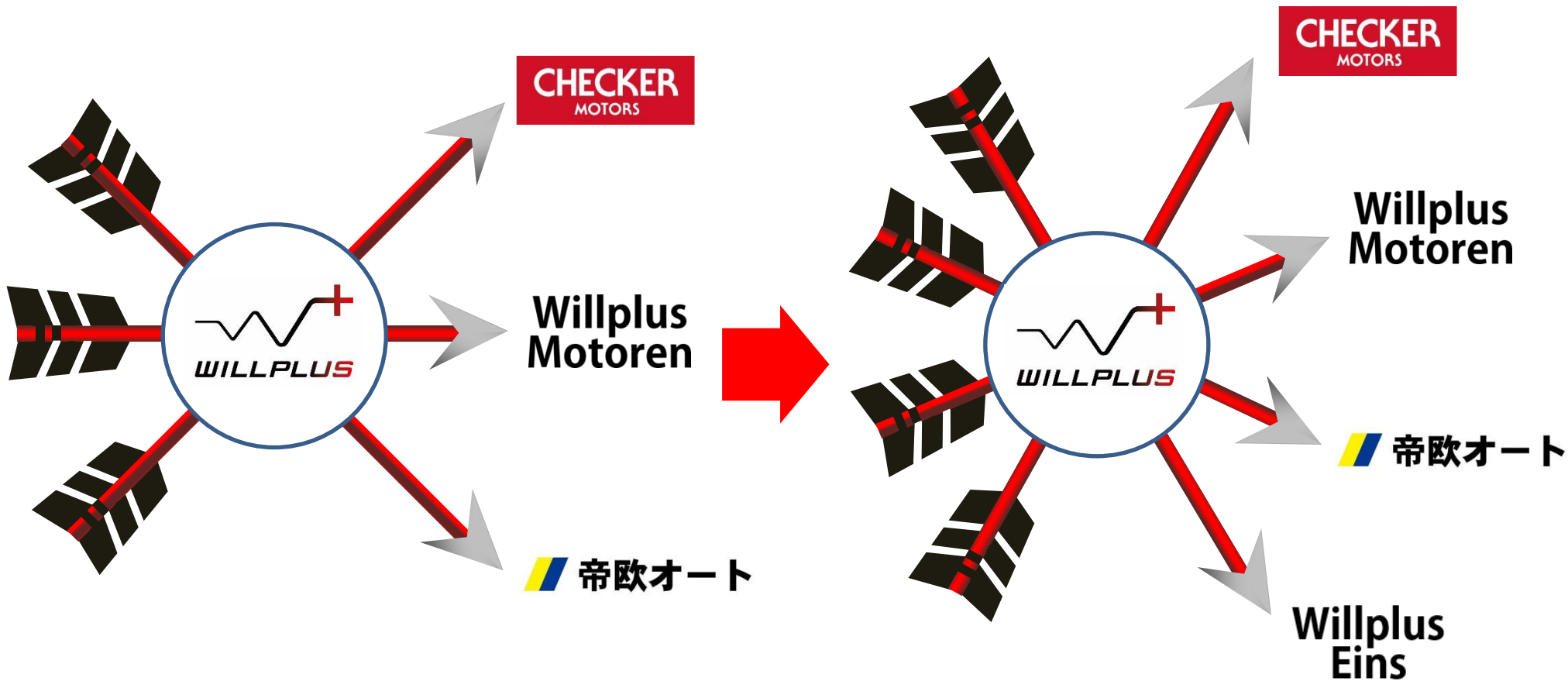


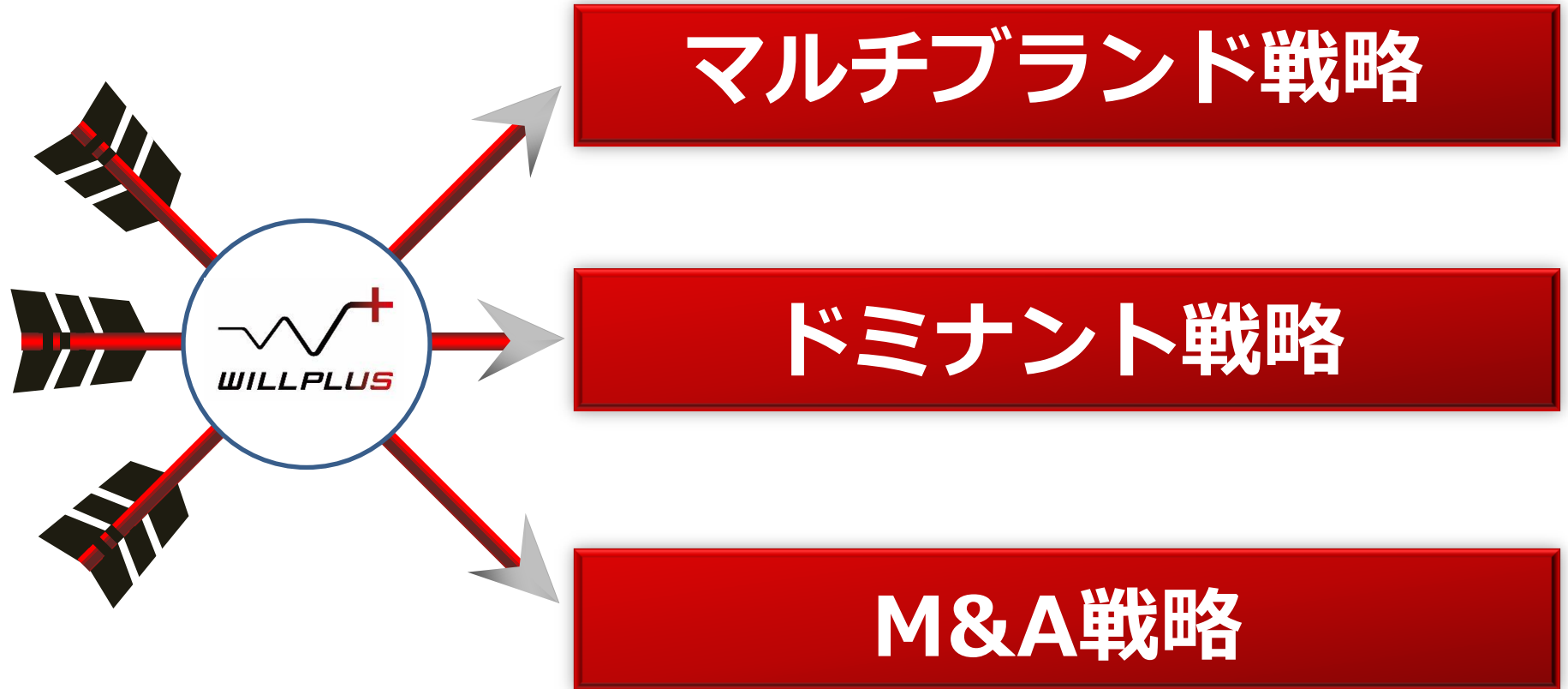
- ▶ **成長戦略**
- ▶ **2018年6月期の取り組み**
- ▶ **2018年6月期 連結業績**
- ▶ **2019年6月期の取り組み**
- ▶ **2019年6月期 連結業績予想**
- ▶ **株主還元**
- ▶ **APPENDIX**

The image features a close-up, high-contrast photograph of a car's front end. The top half shows the sleek, aerodynamic lines of a headlight assembly, with a prominent, curved light signature. The bottom half shows the vertical slats of a chrome grille. A central horizontal band with a blue gradient contains the text.

成長戦略



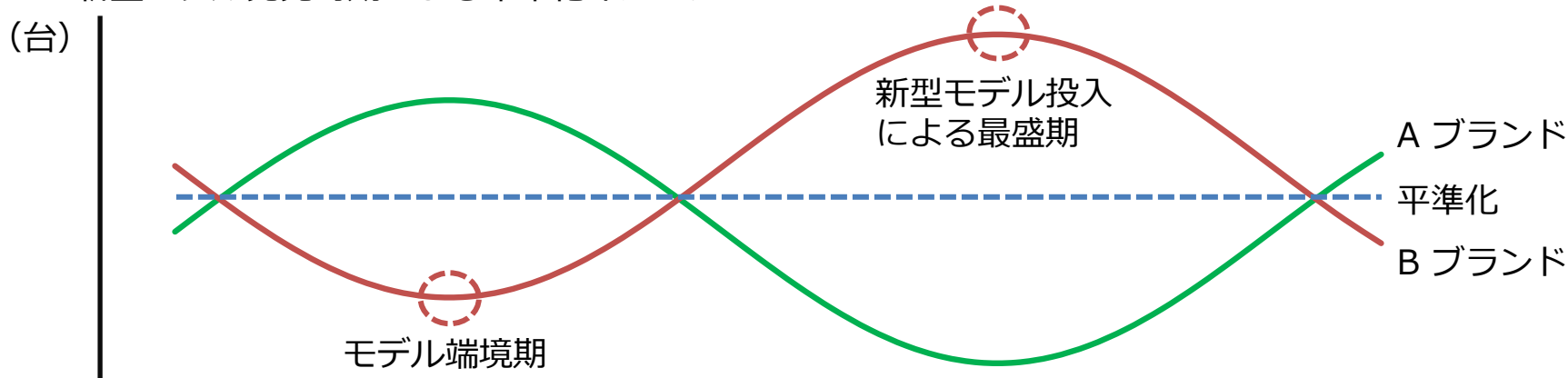




マルチブランド戦略

計10ブランドを扱うことにより、ブランド間の新型モデル投入時期の差異による販売サイクルへの影響を平準化

新型モデル発売時期による平準化イメージ



2016年新型モデル



2017年新型モデル

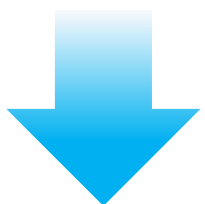




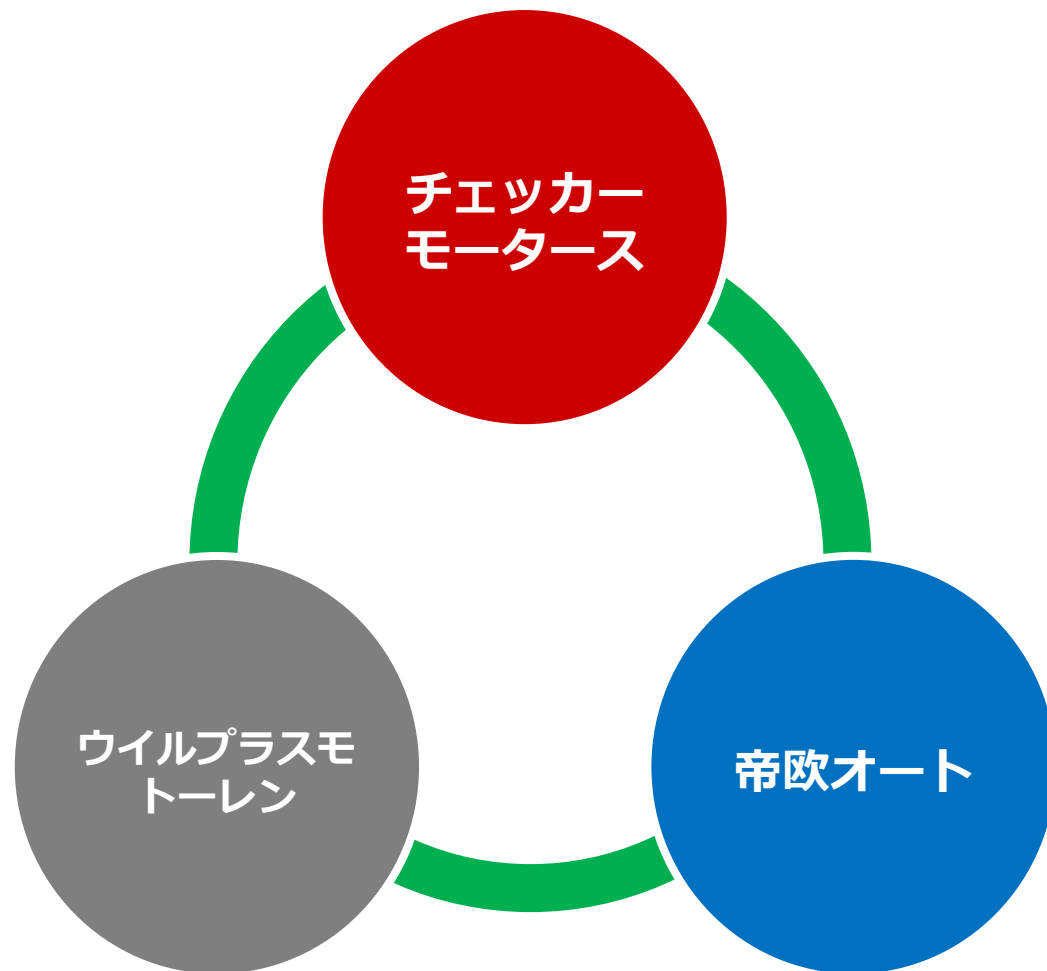
グループ内での人材の流動化



面でのお客様へのフォロー



利益の最大化





積極的な
M&Aに
よって

1

新たなエリアへの進出

2

新たなブランドの獲得
(マルチブランド戦略)

3

既存ブランドのシェア拡大

M&A戦略



未取扱いブランド

Mercedes Benz



VW

Audi



Peugeot+Citroen+Ds



Jeep

Renault

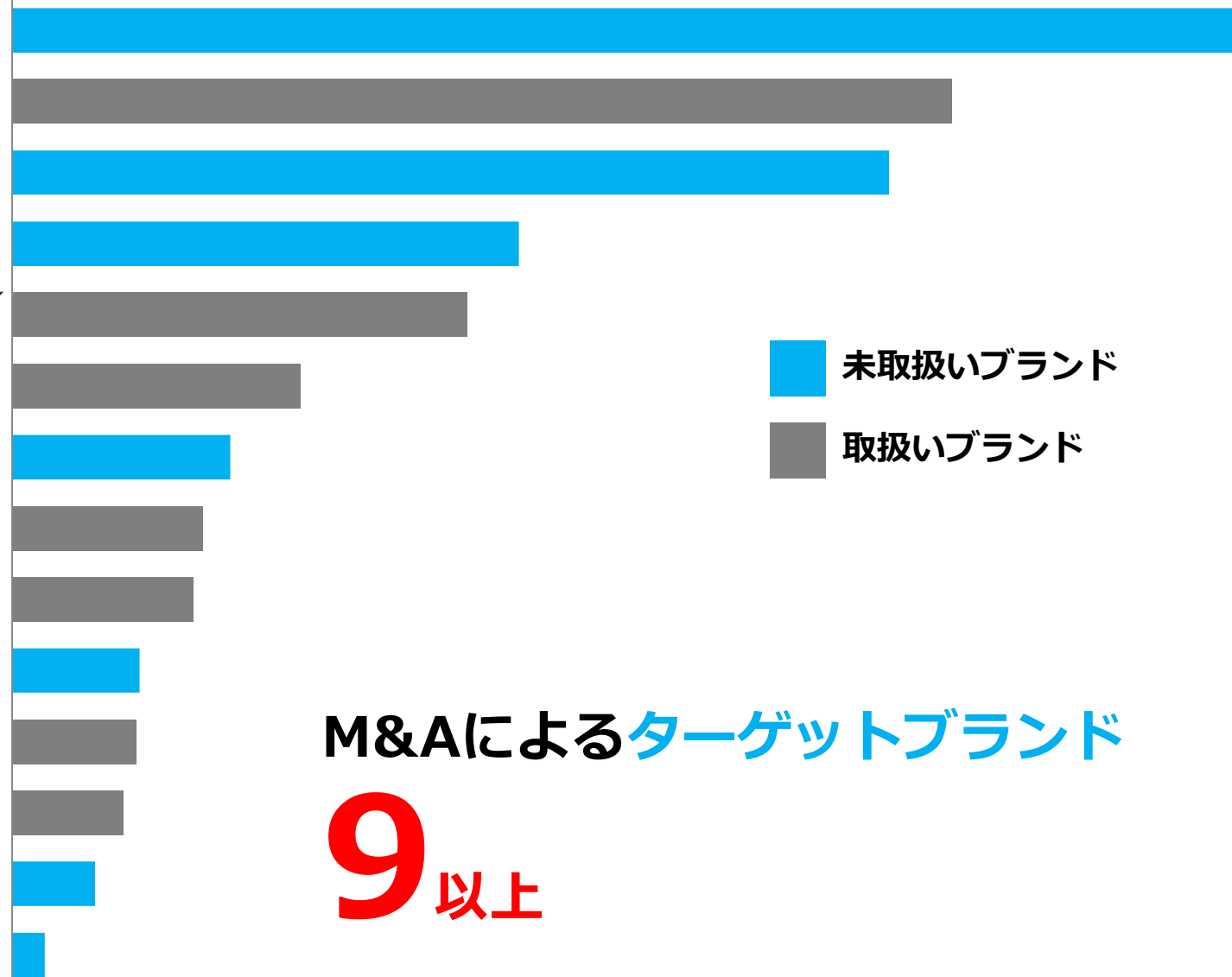


PORSCHE



smart

Maserati



■ 未取扱いブランド
■ 取扱いブランド

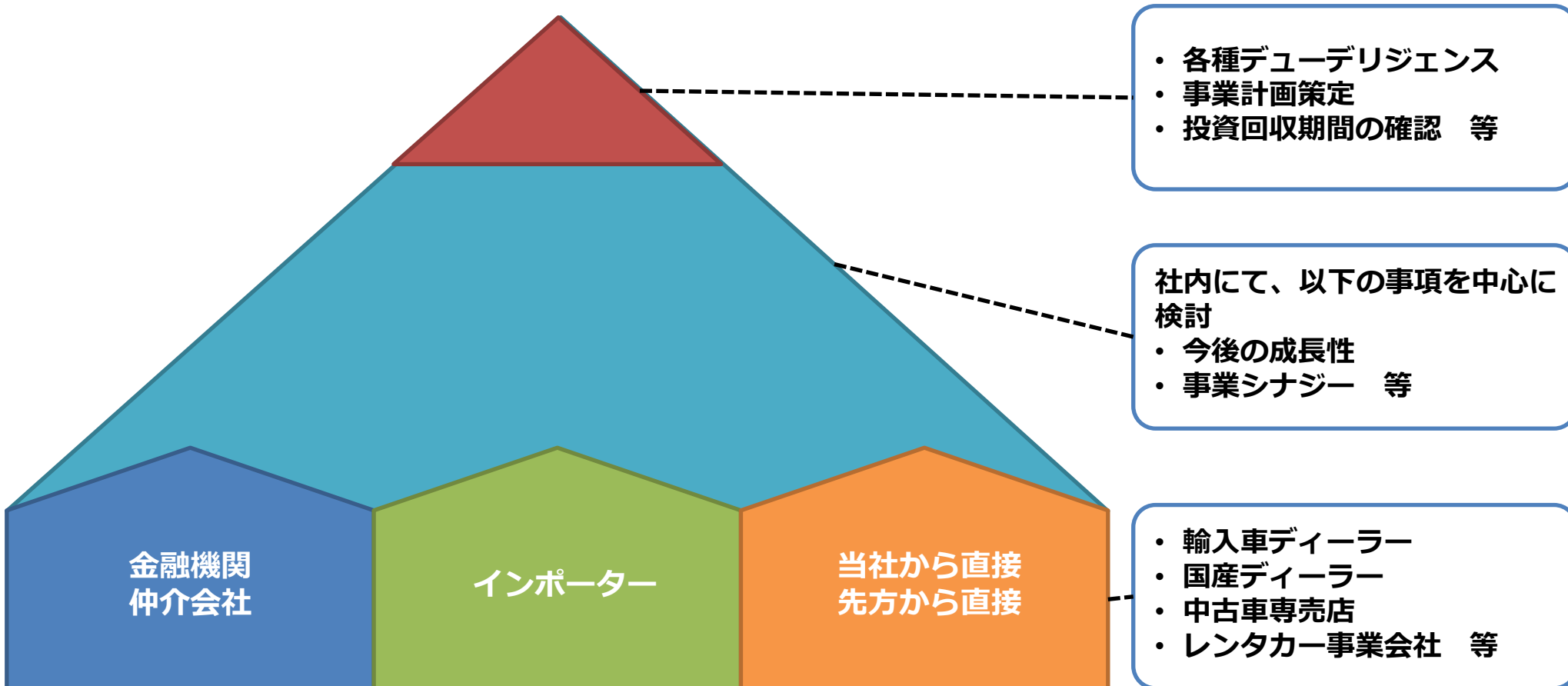
M&Aによるターゲットブランド

9以上



M&A案件の発生・成立

- 金融機関等の紹介、インポーター、オーナー持ちこみ等により発生
- 当社の投資開始基準に沿った案件のみデューデリジェンスを実施し、交渉を経て成立





2018年6月期の取り組み

アルファ ロメオ世田谷、フィアット/アバルト世田谷
ボルボ・カー福岡南、JEEP久留米をリニューアルオープン

最新のCIに準拠した店舗にリニューアル



アルファロメオ大田 オープン

最新のCIに準拠したアルファロメオ専売店



店舗への積極投資

既存店舗への投資

CI変更

- 最新のCIに準拠し、ブランド毎の様々なリテール体験を提供
- 最新の設備等による高品質なサービスを提供

移転オープン

- 視認性、利便性に長けた好立地に移転
- 経営効率の向上

新規オープン

- 商圏の拡大
- 既存エリアの補完
- 既存ブランドの業容拡大

来場顧客、CS向上によるリピーターの増加

収益の向上



ジャガー・ランドローバー湘南

2018年4月1日、(株)アイビーオートより事業譲受

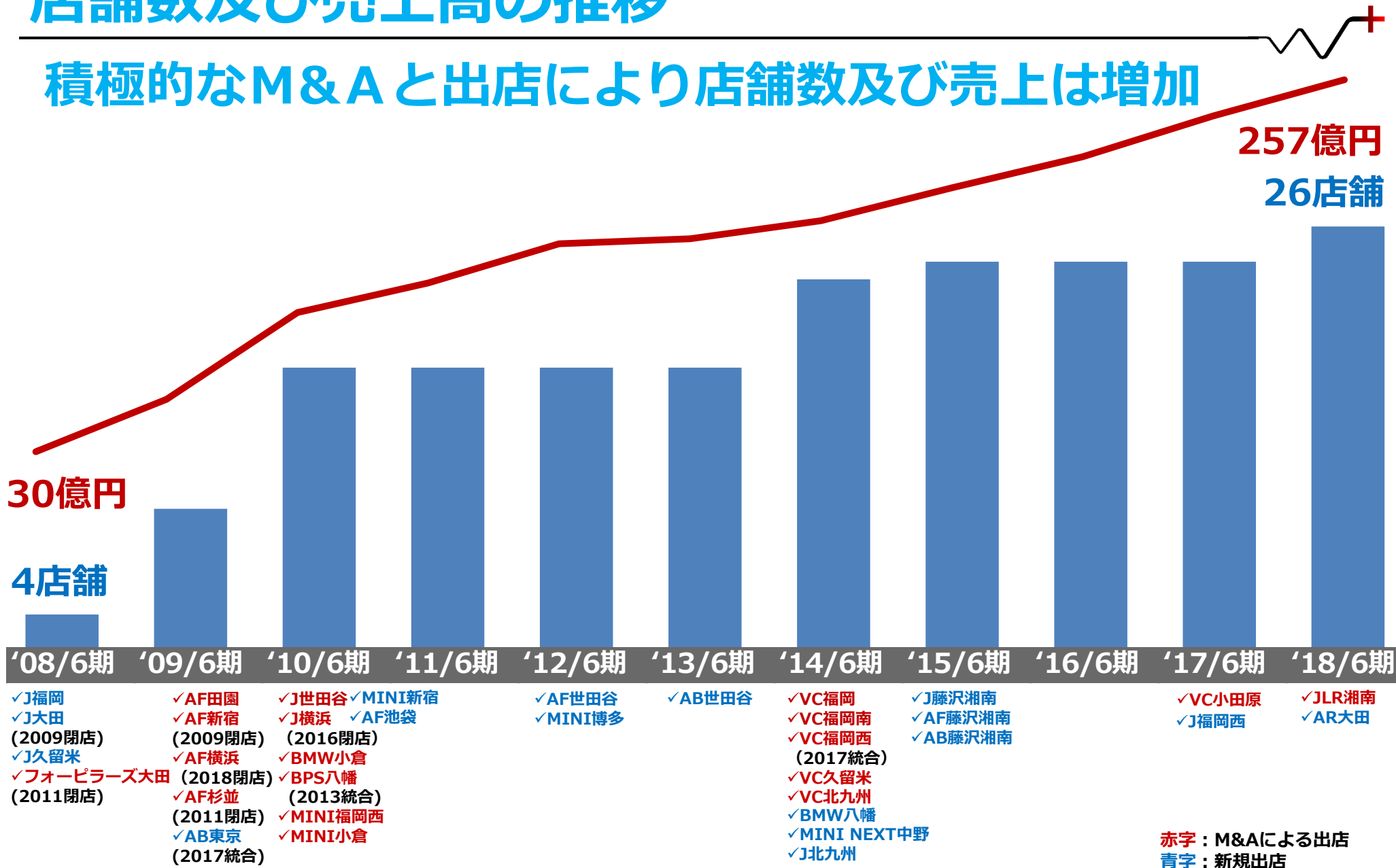
事業譲受の目的

- 新ブランドによるマルチブランド戦略の推進
- 神奈川エリアにおけるドミナント戦略の推進



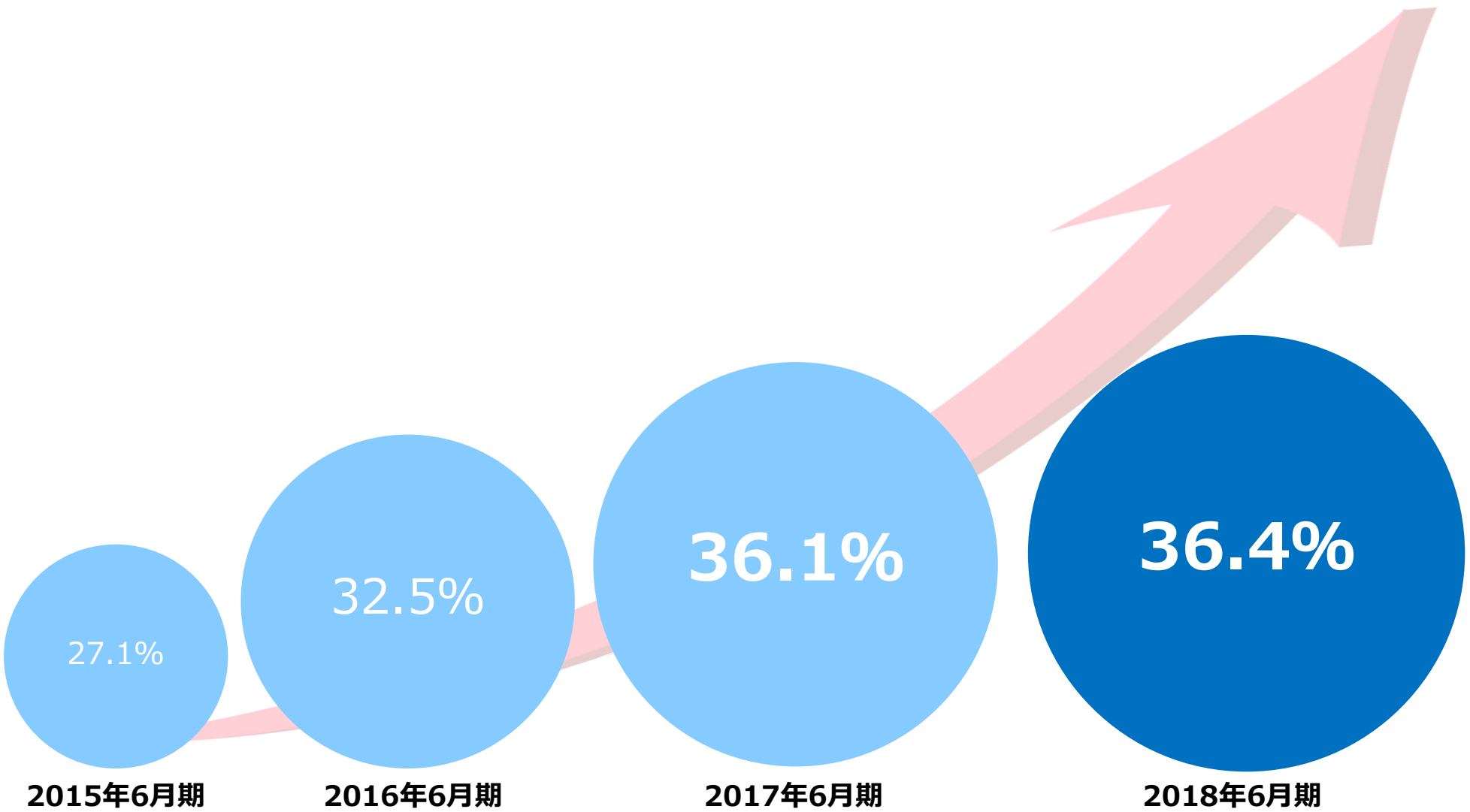
店舗数及び売上高の推移

積極的なM&Aと出店により店舗数及び売上は増加



ストック型ビジネス(新規任意保険付保率)

新規任意保険付保率は前期比0.3ポイントの増加



A close-up photograph of a car's front grille, featuring a prominent circular emblem in the center. The grille has a vertical slat design. A bright blue horizontal banner is superimposed across the middle of the image, containing white text with a blue outline. The text reads "2018年6月期 連結業績".

2018年6月期 連結業績



連結業績

売上高：25,770百万円（前期比9.3%増）

営業利益：1,261百万円（前期比4.3%増）

売上高増加要因

- Alfa Romeo、FIATの新車販売が好調に推移
- JEEP、BMW、MINIの中古車販売が好調に推移
- スtock型ビジネスであるサービス、その他売上が堅調に推移
- ボルボ・カーズ小田原事業譲受による純増

営業利益増加要因

- 新車販売台数増加に伴いインセンティブ収入が増加
- 管理顧客の増加に伴い保険手数料収入が増加
- 粗利単価の高いミドルクラス以上の車種の販売割合が増加

連結損益計算書



(単位：百万円)

FY2017

FY2018

増減額

対前期比

売上高

23,567

25,770

+2,203

+9.3%

営業利益

1,209

1,261

+51

+4.3%

営業利益率

5.1%

4.9%

▲0.2Pt

-

経常利益

1,197

1,255

+58

+4.8%

経常利益率

5.1%

4.9%

▲0.2Pt

-

当期純利益

743

815

+71

+9.6%

当期純利益率

3.2%

3.2%

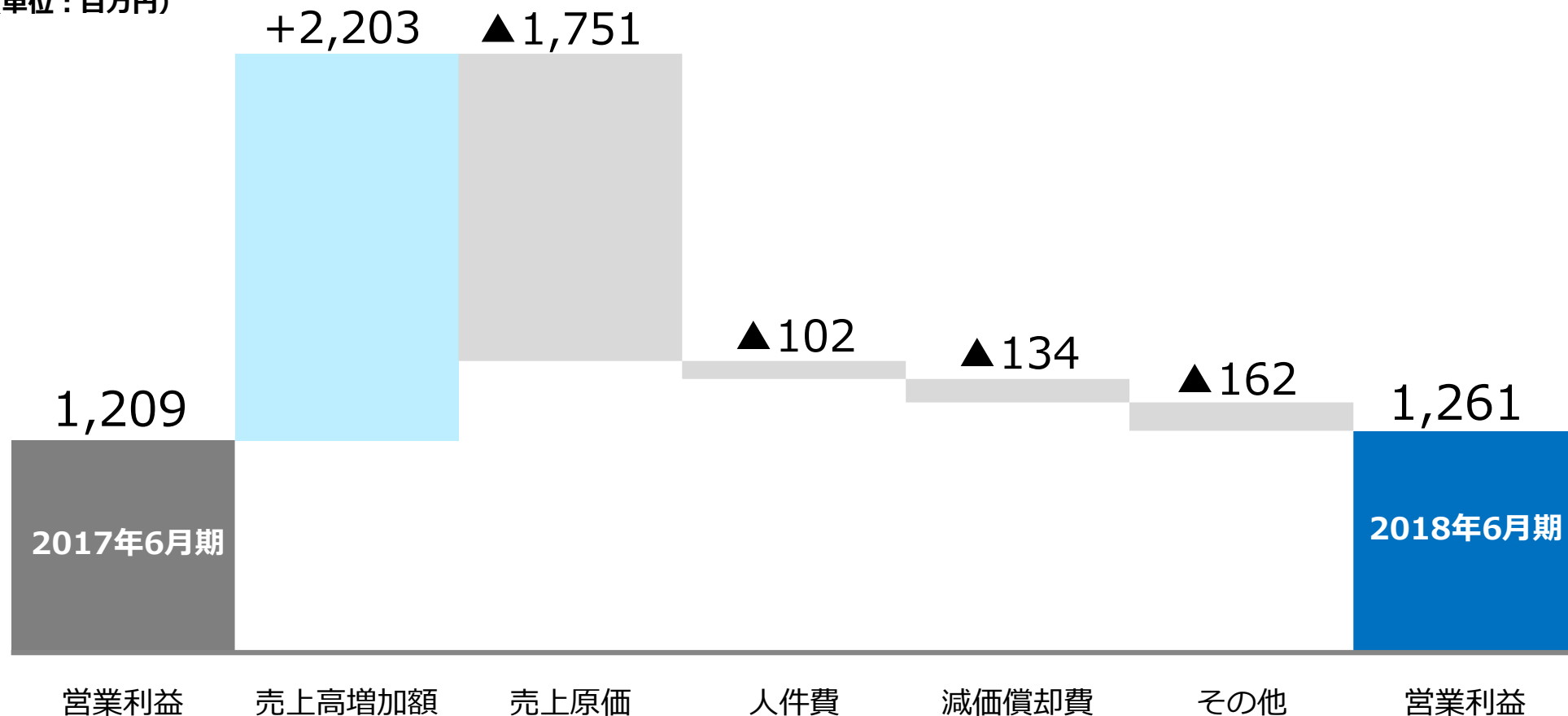
-

-

営業利益の推移（増減分析）

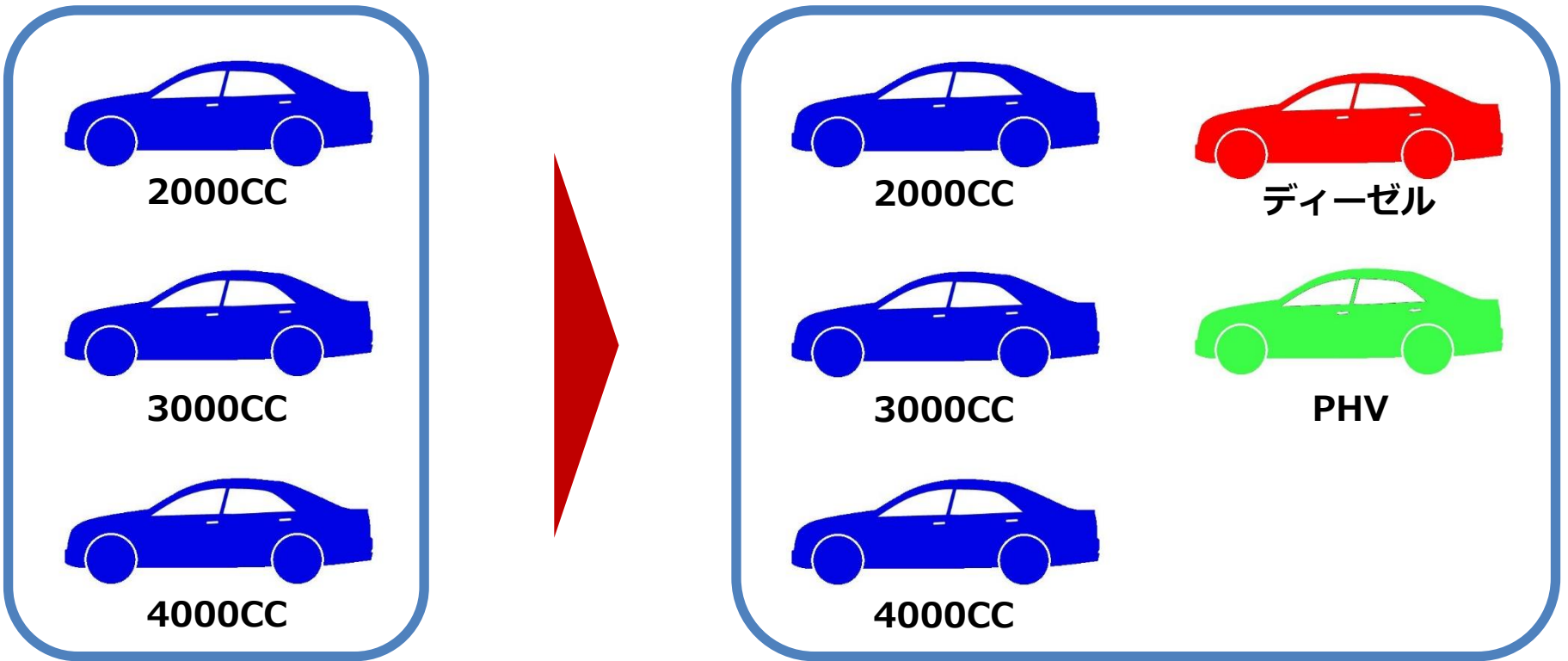
- 売上高は新車・中古車を中心に各品目において前期比で増加
- デモカー増加及びボルボ・カーズ小田原譲受により減価償却費増加
- ジャガー・ランドローバー取り扱い開始に伴う諸経費増加

（単位：百万円）



デモカーの減価償却費増加

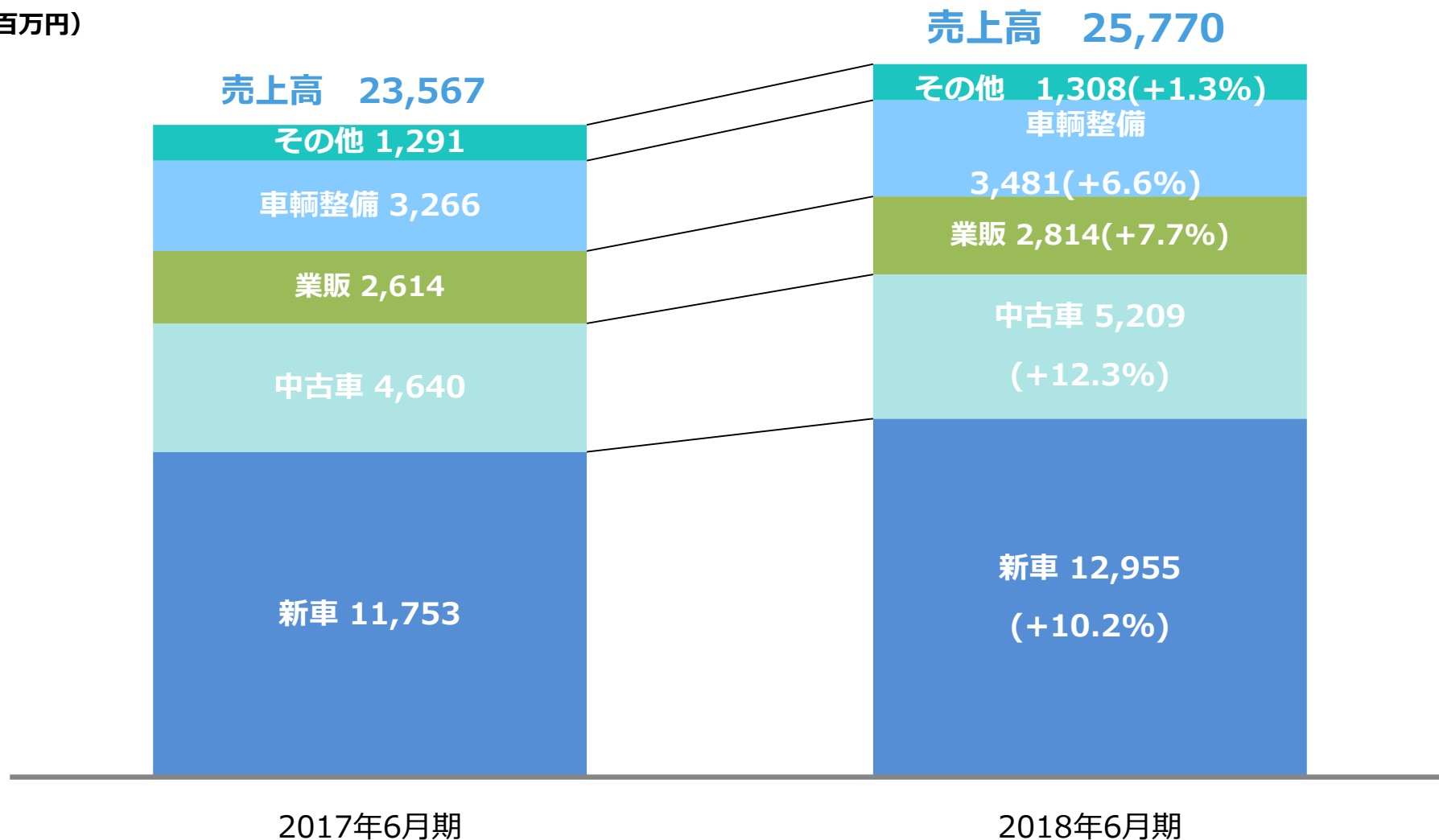
エンジンの多様化に伴い、デモカーの数は増加傾向



品目別売上高

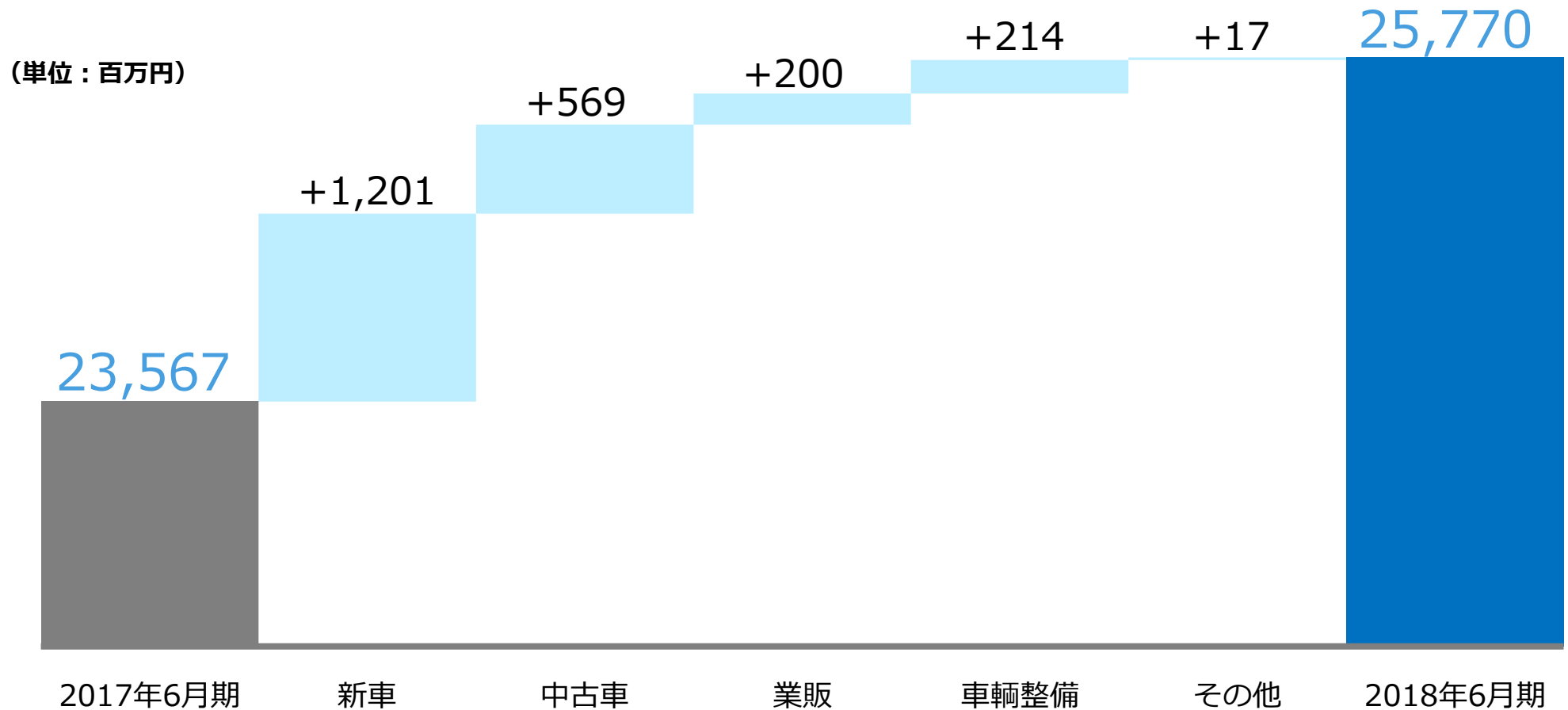
各品目別において、対前期比が増加

(単位：百万円)



品目別売上高増減分析

- 新車販売に注力した結果、Alfa Romeo、FIATを中心に好調に推移
- 車輜販売が好調により、管理顧客が増加し、車輜整備が増加
- 新車販売好調により、インセンティブ増加、付保率UP等その他も増加



連結貸借対照表（資産）



（単位：百万円）	FY2017	FY2018	増減額	対前期比
流動資産	5,889	7,352	+1,463	+24.8%
現預金	1,416	1,463	+47	+3.4%
売掛金	121	148	+27	+22.4%
商品	3,517	4,703	+1,186	+33.7%
固定資産	3,464	3,959	+494	+14.3%
有形固定資産	2,558	3,121	+562	+22.0%
無形固定資産	483	390	▲92	▲19.2%
総資産	9,354	11,312	+1,957	+20.9%
総資産経常利益率	13.9%	12.1%	▲1.8Pt	-

連結貸借対照表（負債・純資産）



（単位：百万円）	FY2017	FY2018	増減額	対前期比
流動負債	4,399	5,215	+816	+18.6%
買掛金	1,927	2,143	+216	+11.2%
短期借入金	600	900	+300	+50.0%
1年内返済予定の 長期借入金	451	539	+88	+19.7%
固定負債	812	1,302	+490	+60.4%
長期借入金	672	1,113	+440	+65.4%
資産除去債務	110	146	+36	+33.0%
純資産	4,142	4,793	+651	+15.7%
自己資本比率	44.3%	42.4%	▲1.9Pt	-
自己資本利益率	19.4%	18.2%	▲1.2Pt	-

キャッシュフロー計算書



(単位：百万円)	FY2017	FY2018	増減額	主な項目	FY2017	FY2018
営業 C F	441	▲161	▲603	税金等調整前当期純利益 減価償却費 のれん償却額 たな卸資産の増加額	1,179 419 95 ▲1,226	1,256 553 95 ▲1,848
投資 C F	▲672	▲454	+218	有形固定資産の取得による支出 敷金及び保証金の差入による支出 事業譲受による支出	▲575 ▲58 ▲55	▲254 ▲8 ▲168
財務 C F	267	663	+395	短期借入金の純増減額 長期借入れによる収入 長期借入金の返済による支出 自己株式の取得による支出 配当金の支払額	- 800 ▲408 0 ▲121	300 1,000 ▲471 ▲79 ▲133
現金及び 現金同等物 増減	36	47	+11			
現金及び 現金同等物 残高	1,416	1,463	+47			

営業キャッシュフロー減少の主な要因



たな卸資産の増加：621百万円

- ジャガー・ランドローバーの取扱い開始による増加
- インポーターの施策により在庫仕入が増加

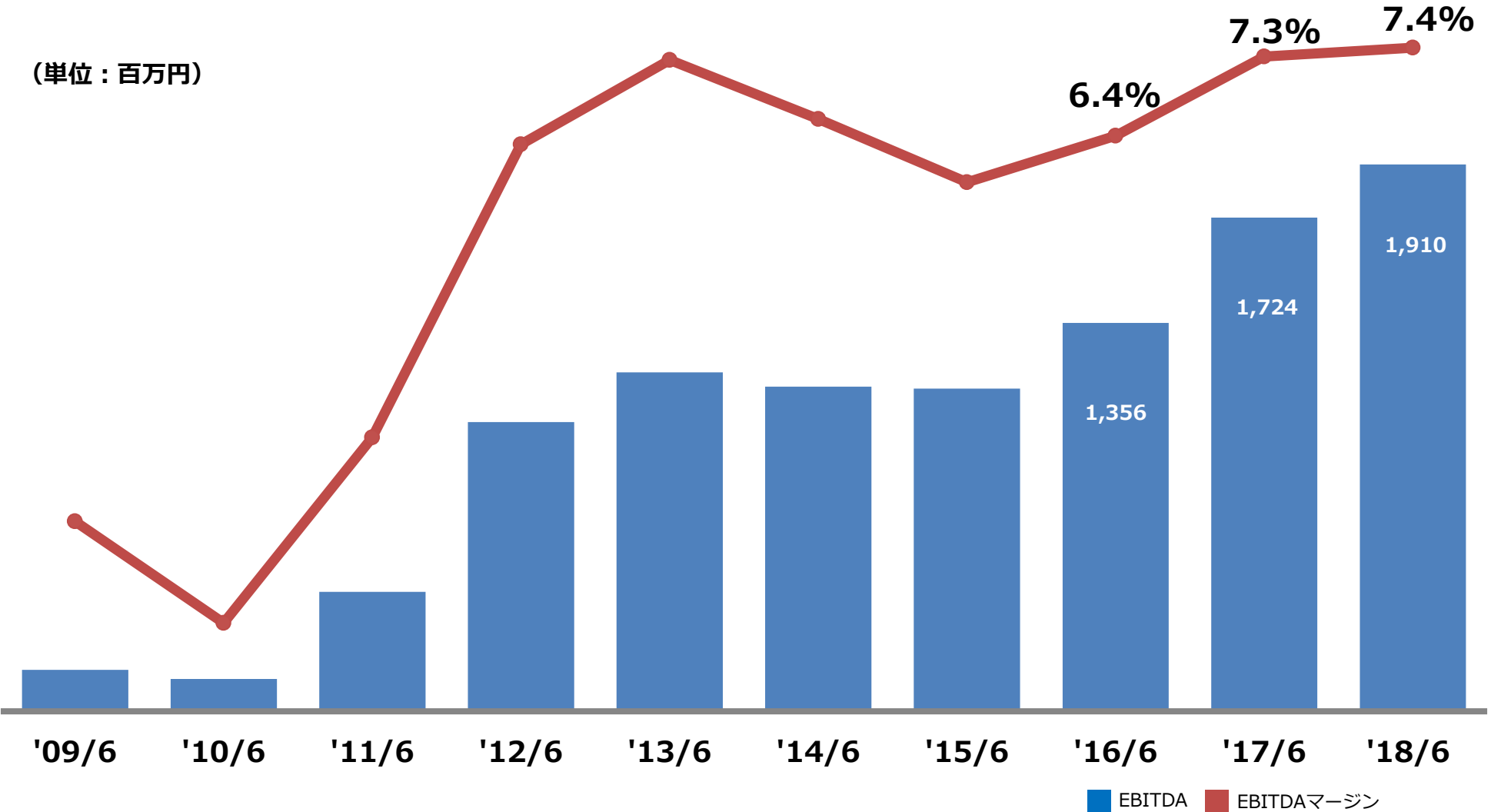
法人税等の支払額の増加：106百万円

- 増益による増加

EBITDA

EBITDAは対前期比で0.1ポイントの増加

(単位：百万円)



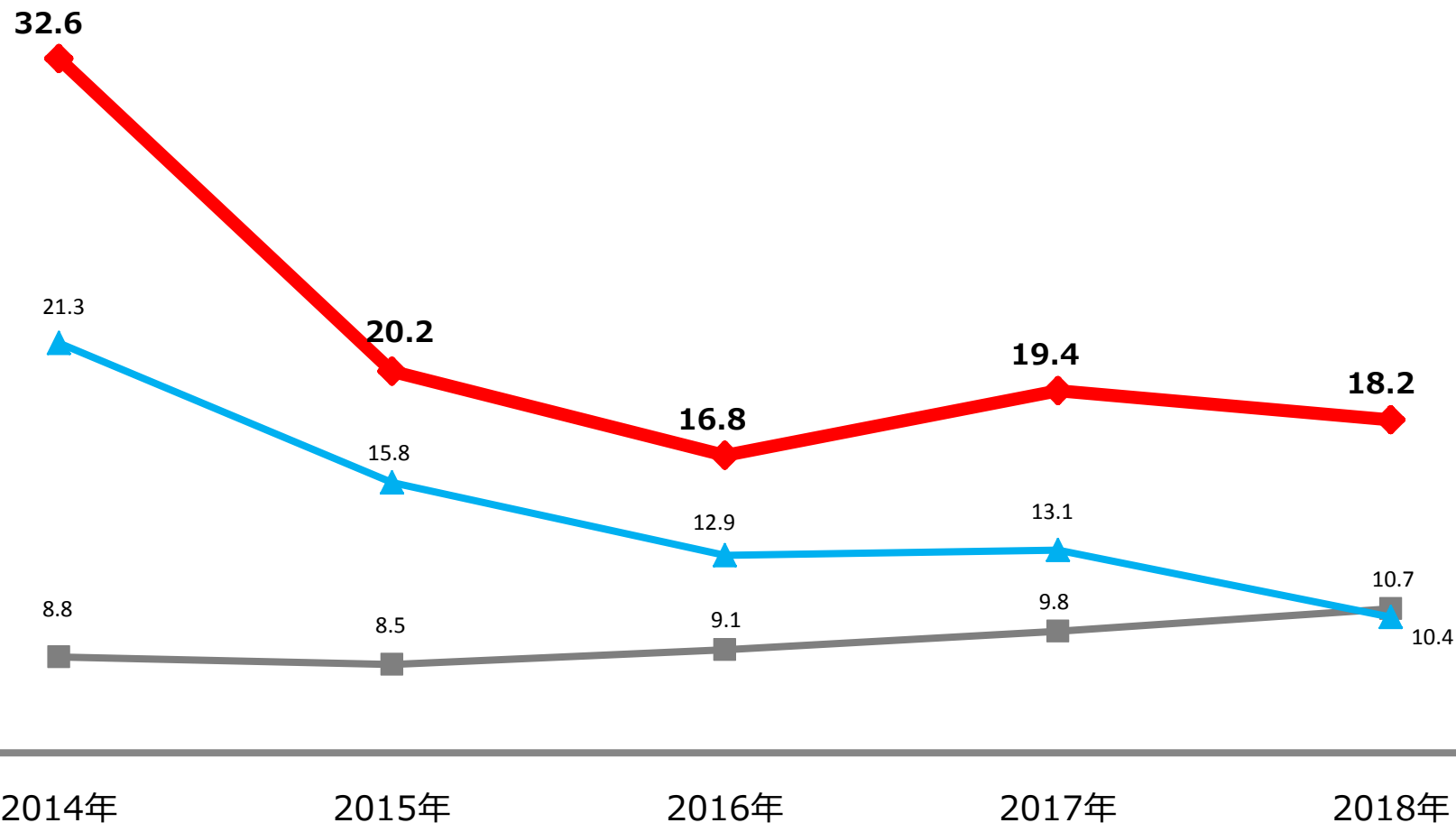
■ EBITDA ■ EBITDAマージン

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

ROE推移（同業他社）

同業他社と比較し高水準を維持

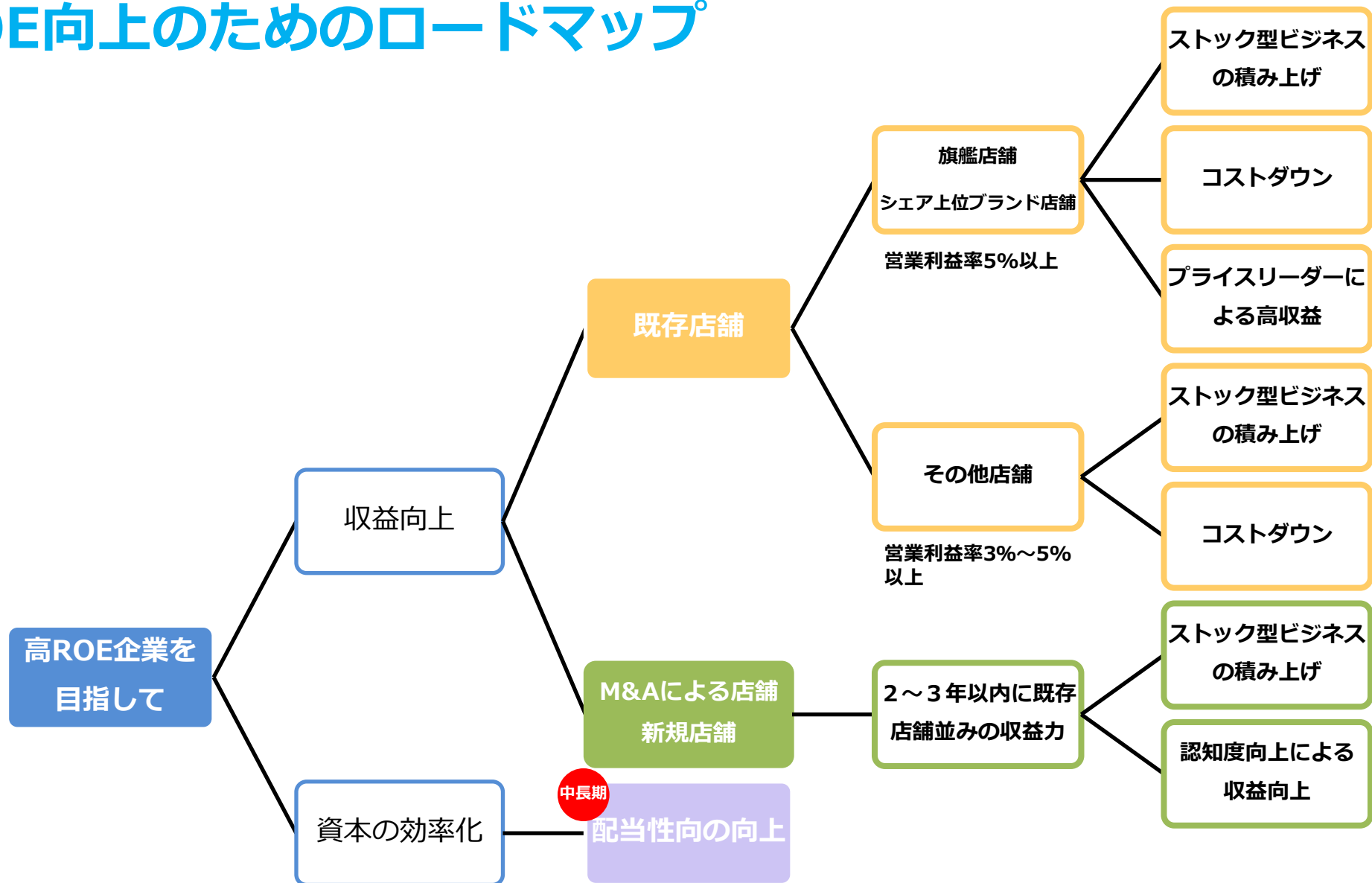
株式会社ウイルプラスホールディングス A社 B社



出所：各社決算資料より、当社作成
注：決算期は当社が6月期、A社及びB社が3月期

ROEのさらなる向上

ROE向上のためのロードマップ





チェッカーモータース

- JEEPは、ニューモデルのCompassを中心に新車販売が好調に推移
- Alfa Romeoは、ニューモデルのGiulia、FIATは500の限定モデルを中心に新車販売が好調に推移。
- JEEPの中古車も好調に推移

ウイルプラスモトーレン

- BMW及びMINIの新車は前年並みの販売
- BMW及びMINIともに未使用車を中心とした中古車販売が好調に推移
- BMWの値引き拡大に伴う粗利率の低下により利益が減少
- デモカー増加による減価償却費の増加及び体制強化による人員増のため、人件費が増加し利益が減少

帝欧オート

- ボルボ・カーズ小田原譲受により、売上高が純増
- 既存店の売上高が前年比減少による粗利の減少により利益が減少
- デモカー増加による減価償却費の増加及びボルボ・カーズ小田原譲受による経費増加のため利益が減少

チェッカーモーターズ 損益計算書



(単位：百万円)	FY2017	FY2018	増減額	対前期比
売上高	11,408	12,693	+1,285	+11.3%
経常利益	542	698	+156	+28.9%
経常利益率	4.8%	5.5%	+0.7Pt	-
当期純利益	353	472	+119	+33.8%
当期純利益率	3.1%	3.7%	+0.6Pt	-

ウイルプラスモーターレン 損益計算書



(単位：百万円)	FY2017	FY2018	増減額	対前期比
売上高	8,593	9,257	+663	+7.7%
経常利益	397	358	▲39	▲9.9%
経常利益率	4.6%	3.9%	▲0.7Pt	-
当期純利益	254	241	▲12	▲5.0%
当期純利益率	3.0%	2.6%	▲0.4Pt	-

帝欧才一ト 損益計算書



(単位：百万円)	FY2017	FY2018	増減額	対前期比
売上高	3,680	3,995	+314	+8.6%
経常利益	197	148	▲48	▲24.4%
経常利益率	5.4%	3.7%	▲1.7Pt	-
当期純利益	127	92	▲35	▲27.6%
当期純利益率	3.5%	2.3%	▲1.2Pt	-

A close-up photograph of a car's front end, focusing on the headlights and grille. The car is dark-colored, and the headlights are illuminated with a bright blue light. The grille features a prominent vertical slat design. The image is framed by a blue horizontal band across the middle, which contains the text.

2019年6月期の取り組み

出店関係

2019年1月頃 ポルシェセンター郡山（仮称）新規オープン予定

- 東北エリアでポルシェとして2番目の店舗
- 福島県を中心に東北エリア大きくカバー

東北エリア初進出



ポルシェセンター郡山（仮称） 完成予想図

ジャガー・ランドローバー北九州（仮称）

2018年10月、福岡県北九州市にて新規オープン予定

新規オープンの目的

- 新ブランドによるマルチブランド戦略の推進
- 北九州エリアにおけるドミナント戦略の推進



ニューモデルローンチ



2019年6月期

JEEP



Wrangler

Alfa Romeo
FIAT
ABARTH



Alfa Romeo STELVIO

BMW
MINI



BMW 3 Series Sedan ※写真は現行モデル

VOLVO

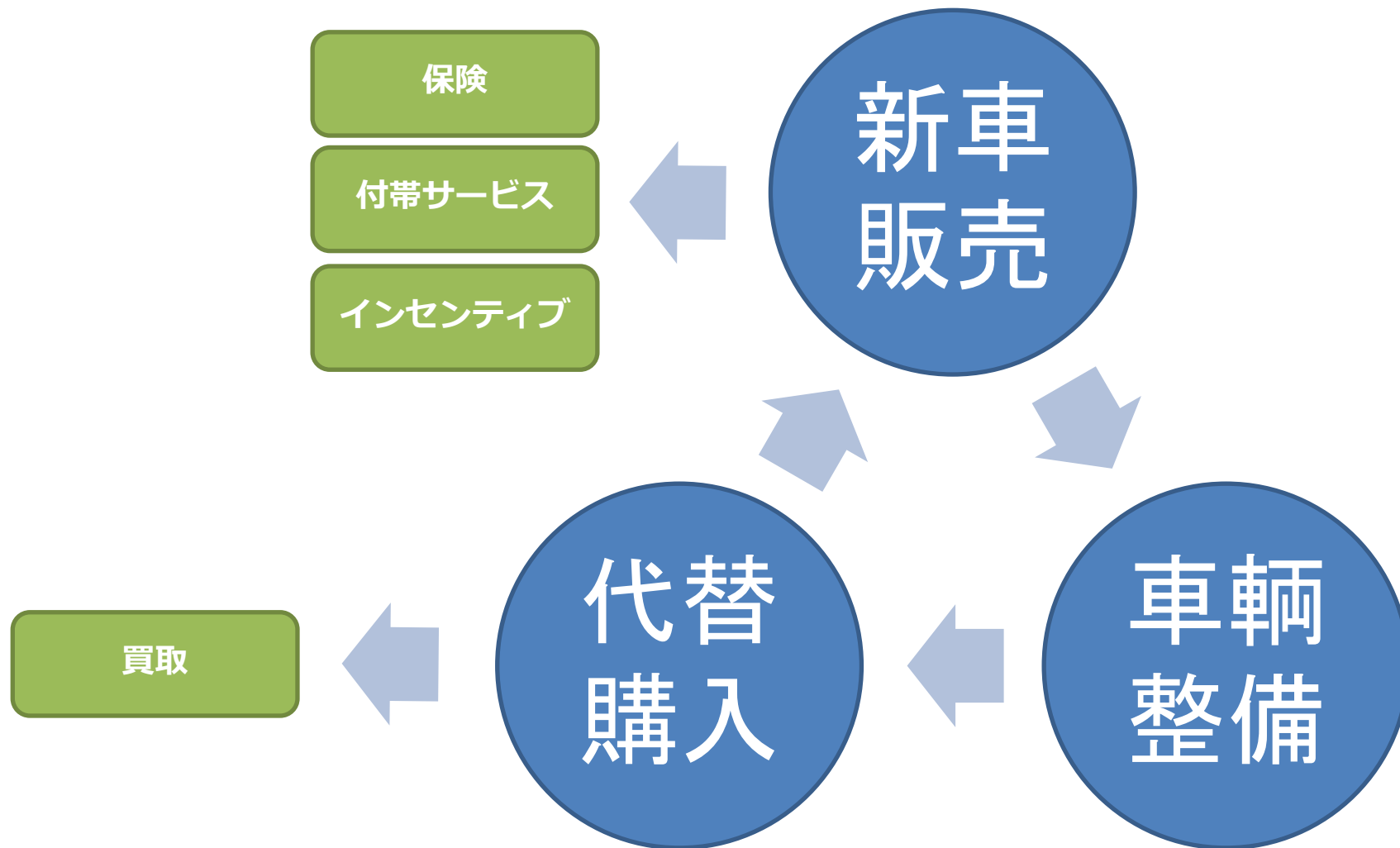


V60

※当社予想含む

新車販売への注力

- 中古車はネットによる全国販売が可能のため、売り切りの可能性が有
- 新車はテリトリー内の販売が多いため、その後の継続的な関係を構築



A close-up photograph of the front of a white car. The image shows the upper part of the front grille, which has a honeycomb pattern, and the headlight assembly. A red accent is visible on the lower left side of the grille. The car's hood and fender are visible at the top. A blue horizontal bar is overlaid across the middle of the image, containing white text.

2019年6月期 連結業績予想



連結業績予想

売上高：29,510百万円（前期比14.5%増）

営業利益：1,344百万円（前期比6.6%増）

- ニューモデル4車種を中心に、引き続き新車販売に注力
- スtock型ビジネスの着実な積み上げ
- アルファ ロメオ大田店、ジャガー・ランドローバー湘南及び北九州の通年寄与
- ポルシェセンター郡山オープンによる純増

連結業績予想



(単位：百万円)	FY2018	FY2019	増減額	対前期比
売上高	25,770	29,510	+3,740	+14.5%
営業利益	1,261	1,344	+82	+6.6%
営業利益率	4.9%	4.6%	▲0.3Pt	-
経常利益	1,255	1,331	+76	+6.1%
経常利益率	4.9%	4.5%	▲0.4Pt	-
当期純利益	815	850	+35	+4.3%
当期純利益率	3.2%	2.9%	▲0.3Pt	-

DEFENDER

株主還元

LAND
1948
2015
ROVER
SOLIHULL
ENGLAND

株主還元



配当性向15%程度を目安に安定配当を継続
2019年6月期年間配当は60銭増配の13円80銭を予定

(1株当たり)

2018年6月期

2019年6月期

中間配当	5円00銭	5円00銭
期末配当	8円20銭	8円80銭
年間配当	13円20銭	13円80銭

株主優待、記念株主優待の導入

当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に
当社株式を保有していただくことを目的

また、2018年6月のみ第一部指定に伴う記念株主優待を
実施



	保有株式数*	基準日	優待内容
株主優待	100株	6月末日	QUOカード 1,000円分
(2018年6月のみ) 記念株主優待	100株	2018年 6月末日	QUOカード 1,000円分

*基準日の当社株主名簿に記載または記録された1単位(100株)以上の株式を保有されている株主様を対象

未来に+ α の喜びを

私たちはお客様に輸入車のある生活を提案し、関わる全ての人々を笑顔に変えていく挑戦を続けます

本資料には、当社（連結子会社を含む）の見通し等の将来に関する記述が含まれております。

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断及び仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、情報の正確性等について保証するものではありません。

IRに関するお問い合わせは下記まで

株式会社ウイルプラスホールディングス 管理部企画課

E-mail : ir-info@willplus.co.jp

URL : <http://www.willplus.co.jp>